Tochigi Medical Center TMC

栃木医療センター

No,40　2019　October

理　念

信頼　貢献　協働

Contents

- 診療科紹介（泌尿器科）……1
- 部門紹介（リハビリ）……2
- 職員紹介……3・4
- 地域医療連携講演会……5
- 連携医紹介（のうか眼科）……6
- 眼科一次救急のご案内・病院地図……裏表紙

独立行政法人国立病院機構　栃木医療センター　広報誌

診療科紹介

泌尿器科

泌尿器科医長　越田　竹朗

特徴並びに診療内容

〈外来診療〉

一般外来は月曜日から金曜日の午前中に行っており、二診制としております。時間予約制を採用し待ち時間をなるべく少なくするよう努めておりますが、現状待たせることも多くご迷惑をおかけしている状況です。

〈疾患別診療方針〉

- 前立腺肥大症に対しては、まず薬物療法を行います。治療効果が不十分な症例には、経尿道的前立腺切除術（TUR-P）を行っております。
- 前立腺癌が疑われる患者さまには、積極的に経直腸的超音波ガイド下に前立腺針生検を施行しています。
- 尿路結石に対しては体外衝撃波結石破砕術（ESWL）もしくは経尿道的砕石術（TUL）を施行しております。

〈癌の告知〉

早期癌では“原則告知”しています。進行癌では患者さまの病状・性格・理解力などを十分に把握した上で、患者・家族の希望を尊重して“出来る限り告知”するように心掛けています。“癌の告知”後の精神的ケアにおいては、医師はもちろんのこと、看護スタッフも看護研究などを行ない、日々研鑽を積んで患者さまの“癌と戦う気力”を奮い起こさせるように努めております。

主な疾患・治療法での予定入院期間

- 前立腺針生検（前立腺癌の有無を調べるための組織検査）：１泊２日
- 体外衝撃波結石破砕術（ESWL）：１泊２日（当院では外来では施行しておりません。）

ただし、これらの入院期間はあくまでも目安ですので、患者さまの病状・経過・全身状態等によって変更になることもあります。

リハビリテーション科のご紹介

理学療法士長　有澤　日出和

当院のリハビリテーション科は、全科から依頼を受入れ、患者さんの目線にたって懇切丁寧な医療を提供する事を目標とし、早期リハビリテーションに力を入れています。

また、多職種カンファレンスに参加し、各部門と情報共有をはかるとともに、必要に応じて家屋評価、ご家族に介助方法のご提案などを行い、退院後も安心して過ごせるよう援助しています。

当院のリハビリ室は平成27年11月にリニューアルし、総床面積が700㎡以上を有する充実した環境のもと年間4000人以上の方のリハビリテーションを行っています。

現在、リハ科に隣接している外来棟建設予定地にヤギ３匹が放牧されていることはご存知であると思います。リハビリ室から外に出たデッキからの眺めは特等席となっています。

リハ科はいつでもオープンマインド、ウェルカムです。散歩の途中で患者さんを連れてくることも構いませんので、ぜひおいでください。

我々スタッフ一同、これからも患者さん、地域の先生方や施設のスタッフの方々のお力になれるよう頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。

理学療法部門

理学療法士（PT）11人により、早期から離床を行い、歩行動作能力、基本動作能力の改善をはかり、QOLの向上を目指しています。

地域の関連病院や施設の方々と連携し、継続したリハビリテーションを提供しています。

作業療法部門

作業療法士（OT）７人により、身体・精神機能の回復を促し、残存機能を生かし、退院後の生活を具体的に考え、必要とされる援助を行っています。

当院OT部門の特徴として、手の外科領域の全般を取り扱っており、県内の中心的な施設となっています。

言語聴覚療法部門

言語聴覚士（ST）３人（１名育休中）により、食べる際の状態や姿勢、認知機能や飲み込みの評価をリハビリの見地から進捗を含め医師・看護師と相談しながら行っています。

職員紹介

４月に入職して、約半年が経ちました！

１病棟　稲葉　未来

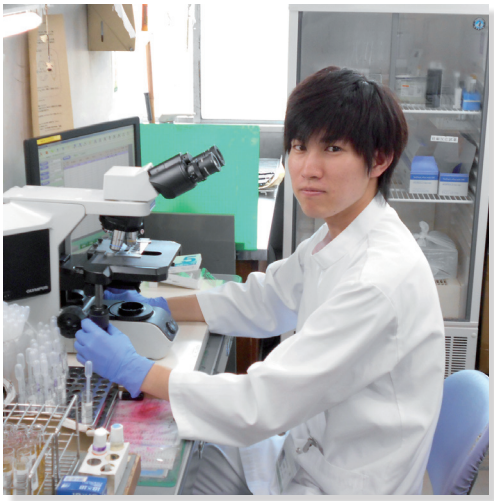
日々看護師として働いていく中で、たくさんの学びや経験を得ることができ、充実した毎日を過ごしています。技術・知識不足でまだまだ至らないところもたくさんありますが、先輩方に支えていただきながら看護師としての責任を果たせるよう頑張っていきたいと思っています。また、患者さんやご家族の心に寄り添い、安心して医療を受けていただけるよう思いやりの心を忘れないよう、努力していきたいと思います。

出身地：栃木県
趣　味：友達と遊ぶ・サバイバルゲーム・食べること・寝ること

５階病棟　丸岡　咲栄

入職する前はクリニックで働いていましたが、看護師としてのスキルを磨きたく、入職致しました。スタッフの方々に支えられ、少しずつではありますが、職場に慣れてきた半面、自身の未熟さも日々痛感しています。これからも患者さんにより良い看護を提供できるよう、自己研鑽に努めて参りたいと思います。　※右が筆者

出身地：福島県
趣　味：ピアノ・猫と遊ぶ・映画鑑賞



臨床検査技師　遠藤　光

４月に入職した頃は、初めての一人暮らし、慣れない地で、不安ばかりでした。あれから約半年が経ち、先輩方からの丁寧なご指導もあり、徐々に仕事もできるようになりました。また、同僚からの温かい支えもあり、楽しい生活を送れています。

まだ分からないこともあり未熟者ですが、日々努力して、患者さんに質の高い医療を提供できるよう、知識・技術を身に付けていきたいと思います。

出身地：東京都
趣　味：バスケ、ドライブ、スキー、読書（マンガ）

契約係　宮下　侑子

企画課の契約係として主に医薬品・検査試薬などの物品購入業務や院内の設備点検業務委託の契約などを担当しています。約半年間の業務で、やっとひと月の流れを理解できるようになりましたが、契約の業務は自分で考えていたよりもずっと幅広く、勉強の連続です。まだ分からないことも多いですが、業務を通じて病院の経営に貢献できるよう頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

出身地：茨城県
趣　味：運動全般、カラオケ、お菓子作り

薬剤師　糸数　瑞穂

４月に入職し約半年が経ちました。現在はくすり渡し口や病棟などにも出るようになり、患者さんとお会いする機会も増えてきました。まだ知識が足りていない部分が多いためご迷惑をかけてしまうことも多いと思いますが、先輩方に相談しながら日々奮闘しています。

気軽に相談していただける、周りを笑顔にできる薬剤師を目指しています。よろしくお願いします。

出身地：埼玉県
趣　味：コーヒーを飲むこと

作業療法士　八崎　拓朗

現在、リハビリテーションを通じて、患者様の生きてきた背景を知ること、今後の人生を考えてアセスメントを行うことにやりがいを感じています。また、多職種連携、円滑に医療を行うことにやりがいを感じています。学びの機会をいただける先輩方と患者様に感謝し、これからも精進していきたいと思います。

出身地：神奈川県
趣　味：映画鑑賞、野球観戦

2019年度　NHO栃木医療センター
地域医療連携講演会・意見交換会

地域医療連携室　上椙　奈央子

7月9日（火）ホテル東日本宇都宮において、NHO 栃木医療センター地域医療連携講演会・意見交換会を開催いたしました。多数の方に参加していただくことができました。

参加者：**院外 90 名**（医師 41 名、歯科医師9名、看護師 18 名）
院内 97 名（医師 32 名、看護部 21 名、事務部8名、コメディカル 25 名、地域包括ケアシステム推進部 11 名）

特別公演

NHO 栃木医療センター 放射線科医長　河合　陽医師
「地域医療連携における画像診断、来るべき人工知能時代に役割は？」
NHO 栃木医療センター 放射線科医長　村上　恵理医師
「地域医療に役立つ体にやさしい放射線治療」

参加者からは、「とても参考になった」という声が多数寄せられ、「AI と医療が今後どの様に進んでいくのか考えるきっかけになった」、「AI について新しい知識を具体的に知ることができた」、「放射線治療が充実していることを知ることができて良かった」とご意見をいただきました。

病診連携・病病連携をさらに強化するために、これからも定期的に開催し、地域に信頼・貢献・協働できる病院の役割を果たせるよう努力してまいります。

のうか眼科

院長　苗加　謙応

1995年７月より宇都宮市若草で開業しております、のうか眼科の苗加謙応と申します。それ以前は大学より当時の国立栃木病院（栃木医療センター）にて４年間眼科医長として勤務しておりました。当時は白内障手術のみならず網膜剥離、硝子体手術、緑内障手術、角膜移植術など多様にわたった症例を経験させていただきました。忙しい中にも大変充実した日々だったように感じます。

開業後の現在は外来が中心となりますが、日帰りにて手術も行っており、白内障手術を中心に、レーザによる網膜光凝固や緑内障手術を行っております。硝子体手術や網膜剥離などの入院加療が必要な症例に関しては大学病院に紹介させていただいております。また白内障手術についても全身管理が困難な症例や早期手術を希望される患者様に関しては栃木医療センターの眼科に大変お世話になっております。

当院では通常の一般診療の他に、特殊外来も設けており、ドライアイおよび涙道についてはそれぞれ専門の担当医による診察を受けることができます（日時が決まっております）。

医療機器に関しても眼底疾患が疑われる患者様が車で来院された場合でも無散瞳の状態で周辺部の網膜まで観察可能であるオプトスや非侵襲的に網膜の詳しい状態を知ることのできるＯＣＴアンギオなど最新の設備を備えております。

今後も栃木医療センターの皆様に助けていただき地域医療に貢献したいと考えております。

ご案内

診療科目　眼科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	○	○	○		○	○	
14:30～16:00						○	
14:30～18:00	○	○	○		○		

休診　日曜・祝日・木曜　　備考　土曜16時まで

〒320-0072　栃木県宇都宮市若草3丁目1-15　　TEL 028-643-3222

眼科一次救急のご案内

当院では栃木県眼科医会と連携して、眼科の一次救急患者さんの診療を行っております。

栃木医療センターの医師ではなく、栃木県眼科医会から派遣された眼科医師が栃木医療センターの診察室で診療を行います。

なお、派遣された眼科医師は担当する日にちの診療後、各自の診療所に戻りますので栃木医療センターで継続的に受診することはできません。

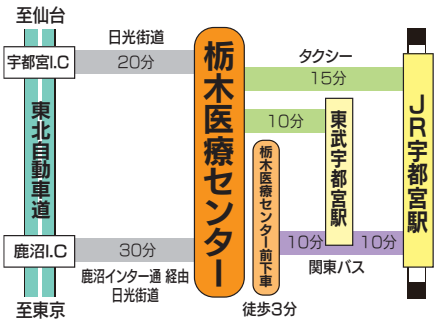
受診を希望される場合は、まず下記の連絡先にお問い合わせください。

診 察 日　日曜日、祝祭日、
年末年始（12月30日 ～ 1月3日）

診療時間　10：00 ～ 17：00

連 絡 先　028−622−5241（代）

交通のご案内



発行人

独立行政法人国立病院機構
栃木医療センター
院長　長谷川　親太郎

〒320-8580
栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37
TEL. 028-622-5241
FAX. 028-625-2718
URL. https://tochigi.hosp.go.jp/

◎本冊子はユニバーサルデザインフォントを使用しています。
※ユニバーサルデザインフォント…年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、さまざまな人が読みやすく、誤読されにくい書体です。